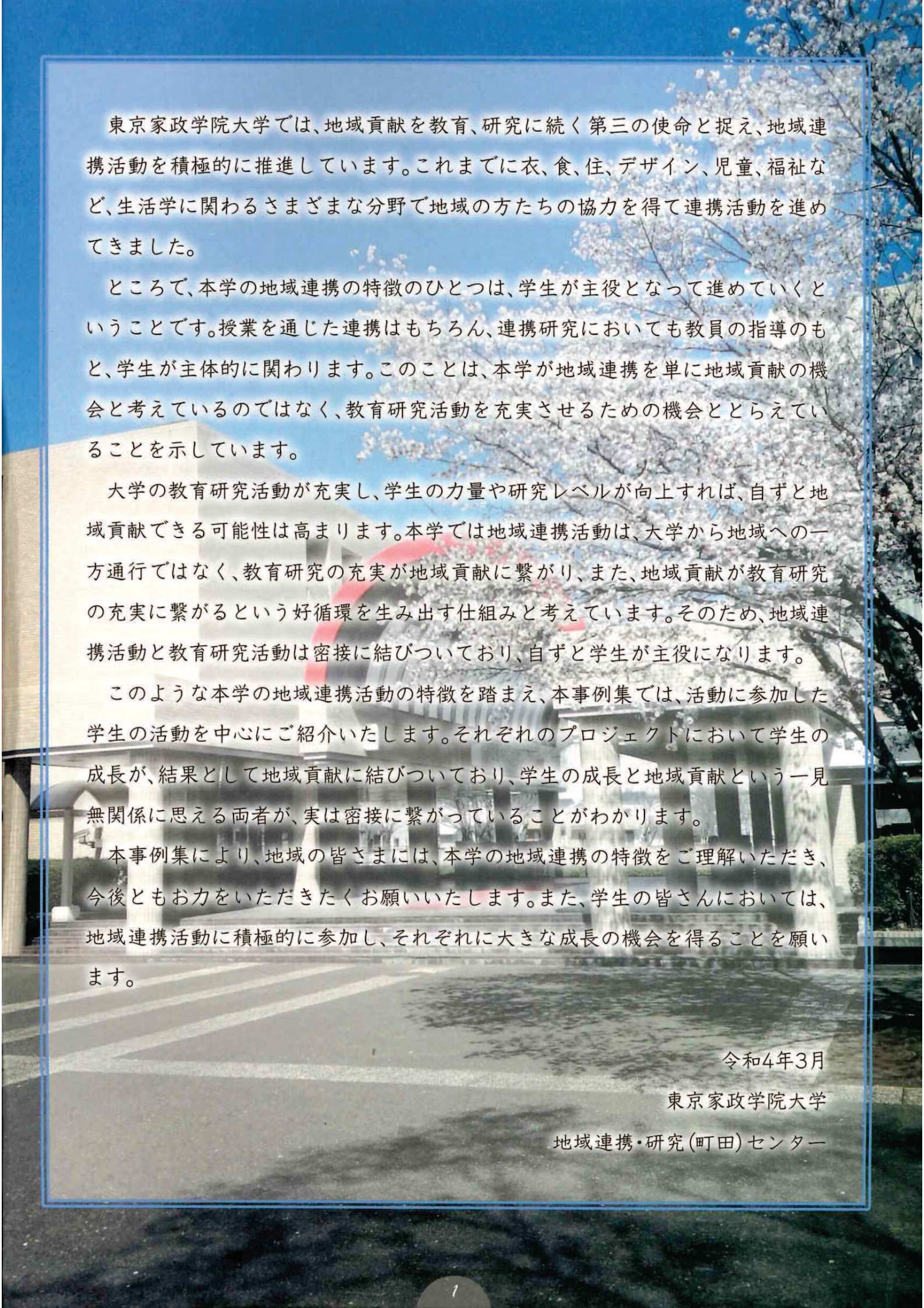


地域で学び、 地域で育つ。



東京家政学院大学では、地域貢献を教育、研究に続く第三の使命と捉え、地域連携活動を積極的に推進しています。これまでに衣、食、住、デザイン、児童、福祉など、生活学に関わるさまざまな分野で地域の方たちの協力を得て連携活動を進めてきました。

ところで、本学の地域連携の特徴のひとつは、学生が主役となって進めていくということです。授業を通じた連携はもちろん、連携研究においても教員の指導のもと、学生が主体的に関わります。このことは、本学が地域連携を単に地域貢献の機会と考えているのではなく、教育研究活動を充実させるための機会ととらえていることを示しています。

大学の教育研究活動が充実し、学生の力量や研究レベルが向上すれば、自ずと地域貢献できる可能性は高まります。本学では地域連携活動は、大学から地域への一方通行ではなく、教育研究の充実が地域貢献に繋がり、また、地域貢献が教育研究の充実に繋がるという好循環を生み出す仕組みと考えています。そのため、地域連携活動と教育研究活動は密接に結びついており、自ずと学生が主役になります。

このような本学の地域連携活動の特徴を踏まえ、本事例集では、活動に参加した学生の活動を中心にご紹介いたします。それぞれのプロジェクトにおいて学生の成長が、結果として地域貢献に結びついており、学生の成長と地域貢献という一見無関係に思える両者が、実は密接に繋がっていることがわかります。

本事例集により、地域の皆さまには、本学の地域連携の特徴をご理解いただき、今後ともお力をいただきたくお願いいたします。また、学生の皆さんにおいては、地域連携活動に積極的に参加し、それぞれに大きな成長の機会を得ることを願います。

令和4年3月

東京家政学院大学

地域連携・研究(町田)センター

東京家政学院大学地域連携ポリシー

東京家政学院大学は、建学の精神である「KVA精神」(知識の啓発・徳性の涵養・技術の錬磨)に基づき、生活者の視点から、家政学を中心的な学問分野として教育・研究を行い、個人・家庭・地域の豊かな暮らしはもとより、地球規模の問題解決に貢献できる人材を育成し、社会に送り出すことを目指している。

本学が中心的に取り扱う家政学の分野は、地域社会(Community)との関わりの強い学問分野であり、それゆえ、本学における教育・研究活動にあたっては、地域社会との連携が不可欠である。また、その成果は、人々の暮らしや文化の発展・向上に寄与するものである。

本学では、こうした学問分野の特長を踏まえ、地域社会への貢献を教育・研究に続く第三の使命と位置づけ、その実現のために、ここに地域連携ポリシーを定める。

- 1 大学は地域社会の一員であること、また本学の発展・成長は地域社会とともにあることを共通の理解として自覚し、地域連携活動を推進する。
- 2 地域社会との連携を推進することにより、研究活動の充実と成果の蓄積を図るとともに、実践的な教育機会の創出に務め、社会に貢献する有為な人材育成を目指す。
- 3 教育・研究活動の成果を積極的に地域社会に還元し、人々の暮らしや文化の発展・向上に貢献する。

(平成23年4月1日制定)

地域で学び、地域で育つ。

東京家政学院大学 地域連携事例集 2021－2022

地域で学び、地域で育つ。

Contents

1. 地域連携プロジェクトレポート	
(1) 第53回八王子市消費生活フェスティバル	
「減塩しても、こんなに美味しい！」	5
(2) 京王アカデミープログラム「子育てサロン」	
～『親子で楽しむ！「音」と「カタチ」のアート体験』	7
(3) 2020たま食育フェスタinせいせき	
「見直そう食生活！あなたの朝食バランス大丈夫ですか？」	9
(4) 第2回ものづくりチャレンジ大作戦inまあち	
オンラインver. カラフルカードを作ろう	11
(5) 八王子コミュニティオペラ・オンライン公演	
『カルメン』の衣装デザイン・制作	13
(6) 第15回東京発!物産・逸品Web モール取材	15
(7) ものづくり指導者養成講座&ものづくりチャレンジ大作戦	17
(8) STAY in Green Hill TERADAキッズスペース運営と地域連携	19
(9) NO! CO ₂ November～地域のみんなで地球のいいこと考えよう～参加 一生分解性ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう！～	21
(10) 子ども体験塾オンライン2021	
児童学科学生による地域の子どもの対象とした体験活動の提供	23
(11) 栄養バランスを整えた一週間アレンジ献立！	
～災害時に備えてin八王子～	25
2. 地域交流会2020-2021レポート	27
3. 地域連携活動の記録	29

Step 1

目標量を上回っていることから、味噌汁を使ったクイズを通して、減塩の大切さを伝えることを目的としました。天然のかつおぶしだしと、市販のインスタントだし（かつお風味調味料）の、2種類の味噌汁を調理しました。



Step 2

2種類の味噌汁は、色の異なるカップに入れて提供しました。そして、どちらの味噌汁が塩分が濃く感じたか、また、美味しく感じたかをクイズ形式で回答してもらいました。131名の方が参加してくださいました。



Step 3

天然だしの方が塩分が濃いと感じる方が多かったようですが、実際は、塩分量は変わりません。天然かつおだしの旨味や香りを活かすことで、“減塩してもおいしい”ということをお伝えすることができたのではないかと思います。

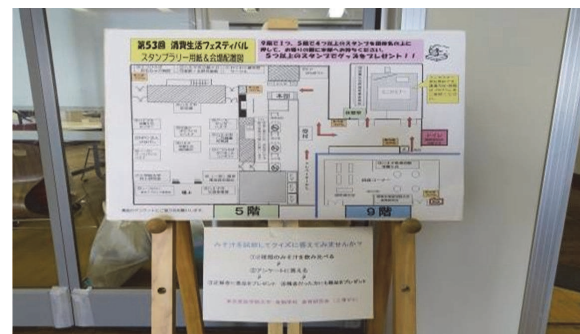
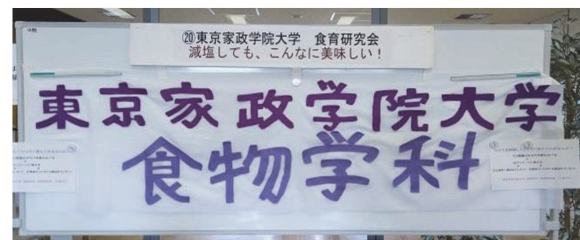


クリエイイトホールにて行われた、第53回八王子市消費生活フェスティバル「考えてみよう！未来をつくるあなたの選択」に食物学科食育研究会の学生が出展しました。テーマは「減塩しても、こんなに美味しい！」です。味噌汁を使ったクイズを行い、減塩の大切さを地域の人々に食育を通してお伝えすることができたと思います。

data

- パートナー 八王子市消費生活センター
八王子市消費生活啓発推進委員会 八王子市消費者団体連絡会
- 担当教員 三澤 朱実 教授（現代生活学部食物学科）
食育研究会（代表 三澤朱実、副代表 阿部明恵、食物学科有志学生）
- 実施期間 2020年2月8日

第53回八王子市消費生活フェスティバル
「減塩しても、こんなに美味しい！」



Step 1

「消え入る音」ととらえる音遊びを体験した後、子どもは、自身の即興的な表現力を発揮し、体全体で「音」を楽しむ喜びを味わいました。子どもの表現は、多感覚での感受により、自由につくり変えられていきます。



Step 2

学生が即興演奏する楽器の音色やリズムを感じとりながら、子どもたちは、床に広げられた大きな紙に、音のイメージを白いクレヨンで形にしています。さらに、描かれた白いクレヨンの線に、自分で砕いたパスの色粉を振りかけ、擦って色をつけました。



Step 3

音のイメージが描かれた床一面の紙。子どもは、お気に入りの部分を切り取ります。それを筒状にして、LED電球の上にかぶせると、自分だけの「ランプシェード」の出来上がり。「音とカタチ」から生まれた光が、暗い部屋を彩りました。



即興的に表現された「音」から感じるイメージを、思いのままに「カタチ」に表していくアートを親子で体験するワークショップ。音楽、造形、身体表現、言葉という枠組みを超えて、からだ全体の感覚と感性を研ぎ澄ませ、ものや人と共有するコミュニケーションの楽しさを実感することができました。

data

- パートナー 京王電鉄株式会社（主催）、株式会社第一通信社（企画運営）
- 担当教員 吉永 早苗 教授・立川 泰史 教授（現代生活学部児童学科）
- 実施期間 2019年12月24日～2020年2月29日



京王アカデミープログラム「子育てサロン」
『親子で楽しむ！「音」と「カタチ」のアート体験』

Step 1

朝食の欠食率は、特に若年者で多く、国の施策でも朝食について目標が掲げられていますが、改善はみられていません。また、朝食内容も同様です。そこで、地域の食育フェスタへ出展し、日頃の朝食内容をチェックしてもらい、朝食の改善を促すことを目的としました。

Step 2

来場者の方に、普段の朝食で何を食べているかを写真①のような手作りの料理カードから選んでもらい、食事バランスガイドと呼ばれる教材を使っての朝食をチェックしてもらいました。手作りリーフレットも作成し、朝食についてアドバイスをを行いました。幅広い年齢層の方がブースにお立ち寄りくださいました。幼稚園生や小学生の参加者も多く、学生たちも楽しく食育活動を行っていました。

Step 3

さらに、朝食摂取状況の実態把握を目的に、食生活を尋ねるアンケート調査を実施しました。「日頃の朝食の現状について再認識しました。もっと野菜を食べるようにしたいです。」などといったコメントをいただきました。当日は、様々な年代の方への食育活動を通して、将来の栄養士としての活動の視野が広がったのではないかと思います。

2018年に発足した食育研究会は、活動3年目となりました。

2020年2月15日、16日に京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター・アウラホールで行われた「2020たま食育フェスタinせいせき～食と健康の祭典～」でブース出展し、地域の方々に食育を行いました。

data

- パートナー 東京都多摩市（たま食育フェスタ実行委員会）
- 担当教員 三澤 朱実 教授（現代生活学部食物学科）
食育研究会（代表 三澤 朱実、副代表 阿部 明恵、食物学科有志学生）
- 実施期間 2020年2月15日・16日



Case 3



「見直そう食生活！
あなたの朝食バ
ランス大丈夫ですか？」

2020たま食育フェスタinせいせき

Step 1

初めてのオンライン開催となり、通信環境の確認や講座の構成、作品、道具、指導方法など手探りで計画を立てていきました。

Step 2

これまでよりも細かい指示や写真を多用した手引書の作成、動画で作業の様子を紹介するなど、事前準備に工夫を凝らしました。

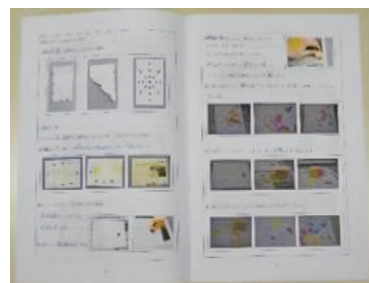
Step 3

個性あふれる可愛い作品が出来上がりました。アンケートでは「楽しかった」「またやりたい」などの嬉しい声を頂きました。(2020年8月15日実施)

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して、「工作キット」を各家庭に送付し、講師と家庭をオンラインで結び、ものづくり体験を行う方法で実施いたしました。本イベントは、町田市と企業、中学・高等専門学校・大学等や民間教育団体などものづくりに理解のある団体が参加しており、ものづくりをしている団体同士の交流が広がるよう期待したいです。

data

- パートナー ものづくりチャレンジ実行委員会・町田市(子どもセンターまあち)
一般社団法人 ものづくり文化振興協会
- 担当教員 佐々木 麻紀子 助教(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2020年2月~2020年8月



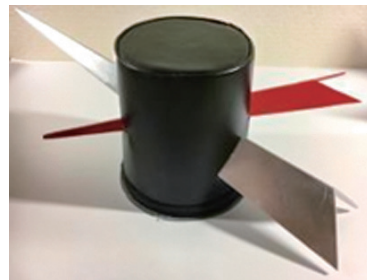
カラフルカードを作ろう



第2回ものづくりチャレンジ
inまあち オンラインver.
カラフルカードを作ろう

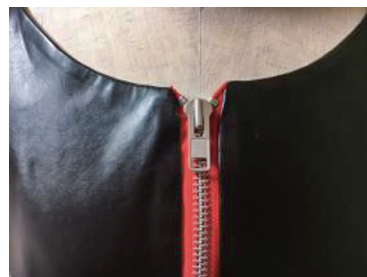
Step 1

デザインの打合せでは、演出家、ふれあい財団の皆様の前で、学生たちが『カルメン』の台本を基にしてコンセプトを把握し、衣装デザインをプレゼンテーションしました。



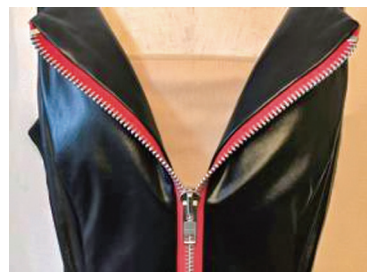
Step 2

衣装デザインは、胸元や裾のファスナーを開くと魔性の女、カルメンのセクシーなドレスへと変化する、赤と黒の対比で印象強く、合成皮革でワイルドなイメージのカルメンを表現しています。



Step 3

この衣装は、2020年3月の公演で使用する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期になりました。しかし、財団の皆様の並々なぬご尽力をいただきまして、2021年1月9日に無観客のオンライン公演を開催いたしました。



本研究室では、8年ほど前から八王子コミュニティオペラに参加し、「椿姫」「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「チャルダッシュの女王」「魔笛」「こうもり」など、作品数は34点になりました。これらの衣装は、地域の イベント活動などに無料で貸し出しをしています。

data

- パートナー 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
- 担当教員 富田 弘美 准教授(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2019年7月~2021年1月

Case 5



カルメン：二瓶純子



八王子コミュニティオペラ 原語上演
GALA CONCERT
ガラコンサート

衣装デザイン・制作

芸術監督 / デザイナー 村上 敏明	音楽監督 / ピアノ 江澤 隆行	演出 / 台本 角 直之	ソプラノ 佐田山 千恵	ソプラノ 藤原 唯	ソプラノ 渡邊 まりえ	ソプラノ 浅川 礼奈	
メゾソプラノ 二瓶 純子	メゾソプラノ 井谷 萌子	テノール 前川 健生	バリトン 森口 賢二	バリトン 新井 健士	バスバリトン 成田 真	ピアノ 林 翔子	ピアノ 高久 智子

Step 1

一風亭様の商品“冷やし坦々万能タレ”です。自家製のラー油、辛味噌を使用してピリッと辛くコクのある商品だそうです。お店の方おすすめのお鍋にするのもよし、パンに塗ってピザ風アレンジもよし、組み合わせ方は多様でこれ1本あれば万能に使うことが出来るとのことでした。通販では麺とセット販売も行っているそうです。



Step 2

岩手県久慈市の竹屋製菓様の商品です。地元岩手県産の大豆を使って製品化することはできないかと、約30年前から黒豆を使用したゼリーやケーキを作り始めたそうです。岩手県産に特化していること、またゼリーは添加物を使用せずに自然の素材を活かして作っているとのことでした。



Step 3

岩手県紫波郡の廣田酒造店様の商品です。全国でも珍しい“南部杜氏初の女性杜氏”の方がいらっしゃいます。お酒に個性を持たせること、岩手のおいしさを表現するために素材の味を出せるように心掛けています。岩手県産のお米100%使用、口当たりの柔らかい地元の水分(みずわけ)神社の上水を使用してお酒を造っているため岩手県オリジナルをお届けしたいとのことでした。



今回、岩手県の一風亭様、竹屋製菓様、廣田酒造店様にオンラインで取材を行いました。コロナ禍の為、実際に伺って取材をすることが出来なかったのが残念でしたが、オンラインだからこそ多くの取材ができ、それぞれの商品の特徴や良さを知ることができました。本取材とレポートを通して、少しでも多くの方々に知って頂き、地域に貢献できたら嬉しく思います。

data

- パートナー 西武信用金庫
- 担当教員 三澤 朱実 教授（現代生活学部食物学科）
- 実施期間 2021年6月～7月

Case 6



Step 1

夏のものづくりチャレンジ大作戦で活躍できる人材養成のため、実行委員会で実施方法を調整し2021年も参加者の安全を考え、オンラインでの開催としました。



Step 2

染色講座を2021年5月9日に開催しました。オンライン開催のため、家庭でできる電子レンジを使う染色教材の作成、参加者へ送付を行い、講座を開催しました。(写真は受講生の作品の一部)



Step 3

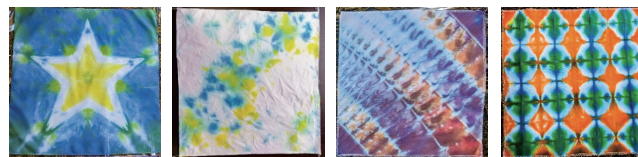
指導案作成などを経て、2021年8月9日に小学生を対象としたものづくりチャレンジ大作戦で電子レンジ染の講座が開講されました。概要をつかめるよう事前に1分動画を作成したり、子供たちにわかりやすいテキストの作成をしたりと様々な工夫をして子供たちにもものづくりの楽しさを伝えました。



指導者養成講座は、半年かけて5から6のプログラムが用意されていて染色はその1つです。染色方法を学ぶだけでなく、様々な場面で応用できるように複数の作品を制作したり、指導案やオンライン指導のポイントなどの講座もあります。この講座を修了した方たちが夏のものづくりチャレンジ大作戦に指導者として参加し、子供たちにもものづくりの楽しさを伝える機会を作っています。

data

- パートナー ものづくりチャレンジ実行委員会
一般社団法人 ものづくり文化振興協会
- 担当教員 佐々木 麻紀子 助教(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2021年2月~2021年8月



ものづくり指導者養成講座&
ものづくりチャレンジ大作戦

Step 1

年齢やどのように遊ぶのかという意図を踏まえ、(株)ボーネルンドより提供された「あそび道具」(玩具)を子どもに合わせ用意しました。



Step 2

年齢に合わせた絵本を本学図書館より学生が選書し、絵本の読み聞かせを行いました。特に、普段の生活では見ることの少ない大型絵本に興味を持つ子どもが多かったです。



Step 3

当日は、おひさま広場のスタッフやボーネルンドの方々と交流の機会を持ちました。実際に(株)ボーネルンド提供イベント「PLAY BUS」の様子を見学し、子どもたちとの関わり方について新たな視点を得ました。



八王子市にあるUR都市機構の団地「グリーンヒル寺田」で開催されたイベント「STAY in Green Hill TERADA～寺田で秋を感じよう～」にて、同団地内のコミュニティスペース「おひさま広場」内に設置されたキッズスペースの運営を見学学科学生が行いました。

data

- パートナー UR都市機構
- 担当教員 末松 加奈 助教(現代生活学部児童学科)
- 実施期間 2021年11月20日・21日

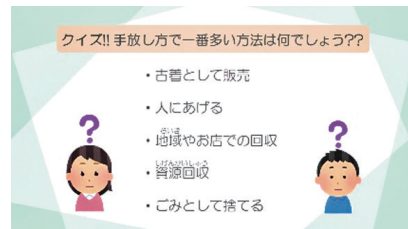
Case 8

STAY in Green Hill TERADA キッズスペース運営と地域連携



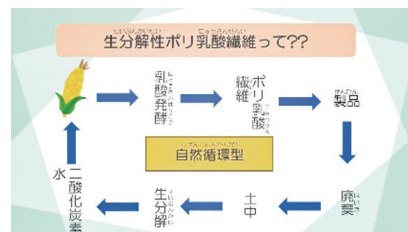
Step 1

『いなくなった衣服の行く先は?』というテーマで、衣服廃棄の問題についてミニ講義を行いました。クイズ形式で質問するなど子どもたちが積極的に参加できるよう工夫しました。



Step 2

『ポリ乳酸繊維ってなんだろう??』衣服のマイクロプラスチック化の問題解決方法として活用できる自然循環型のポリ乳酸繊維について解説しました。



Step 3

『ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう!』ポリ乳酸繊維をよく知ってもらうために、実際に布を触って試してみる体験学習を実施しました。



新型コロナ感染拡大のため中止となったさがみはら環境まつりに代わるオンラインイベント。衣服と環境についてのミニ講義と併せて、環境配慮型の生分解性ポリ乳酸を広く知ってもらうため、コサージュ制作の体験学習を実施。教員志望の4年生が実習用テキストを制作しミニ講義を行いました。

data

- パートナー 相模原市立環境情報センター
(さがみはら環境祭まつり実行委員会)
- 担当教員 花田 朋美 准教授(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2021年11月8日~28日(実施:21日)

Case 9

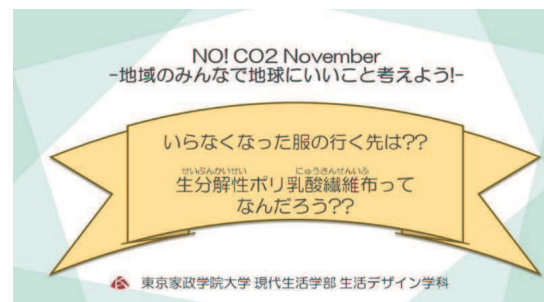
No! CO₂ November
 ~地域の人みんなで地球にいいこと考えよう~



▲制作したコサージュ



▲イベントカレンダー



▲ミニ二講義用資料



▲体験学習のテキスト

NO! CO₂ November

~地域の人みんなで地球にいいこと考えよう~参加
 -生分解性ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう!-

Step 1

(株)つくりおき食堂様からレシピの使用許可を頂き、クッキーの作り方を確認。材料や調理工程を英語で表現し、小さい子どもでもできる分量計算の方法を検討しました。

Step 2

参加する子どもたちが分かりやすいようにイラストを作成。そして、調理動画を事前に収録。当日のライブ配信でMCを務める学生と技術面でサポートをする教員で打ち合わせを行いました。



Step 3

ライブ配信当日は、20名程度の子どもたちとともにクッキー作りに挑戦。参加児全員が美味しいクッキーを作ることができ、ライブ終了時には子どもたちの笑顔を見ることができました。



活動で使用した収録動画は大学公式Youtubeチャンネルにて配信中。

<https://www.youtube.com/watch?v=NeY5bHr3UVU>

活動の様子は、東京都が主催する「こどもスマイルムーブメント」HPでも紹介されました。

<https://kodomosmile.metro.tokyo.lg.jp/corporate/0484.html>

data

- パートナー 近隣の未就学児・小学生とその保護者
株式会社つくりおき食堂 若菜まりえ 様
- 担当教員 原田 晋吾 助教・畝部 典子 教授・新海 公昭 准教授(現代生活学部児童学科)
- 実施期間 2021年9月~11月

Case 10



子ども体験塾オンライン2021
児童学科学生による
地域の子供を対象とした体験活動の提供

Step 1

避難所での公的な防災備蓄食品は、どうしても最大公約数的な味です。その場凌ぎにはなりますが、
続くと飽きてくるのではないのでしょうか。そこで色々
とアレンジ!!

Step 2

市民に活用してもらうため、栄養バランスを整えた
美味しい和食・洋食・韓国料理など、様々な災害食
を企画開発し、SNSに投稿しました。

Step 3

災害時には、普段でも不足している野菜類がさらに
不足しますので、保存しやすい野菜ジュースを使い、
肉や魚は缶詰を使用したので塩分を減らす工夫をし
ました。一週間食べても元気でいられる災害時に備
えた献立です。

大学コンソーシアム八王子学生企画事業補助金採択事業として実施しました。災害時
には、いつもの調理器具等も使えず、食材も不十分な中、どのようにしたら災害備蓄品
の栄養バランスを整え美味しくできるのか、とても奮闘しました。冊子もこれから作りま
すので、地域の防災訓練等でご活用頂ければと思います。

data

- パートナー 大学コンソーシアム八王子
- 担当教員 三澤 朱実 教授
(現代生活学部食物学科 三澤ゼミナール)
- 実施期間 2021年7月～12月



栄養バランスを整えた一週間アレンジ献立！ ～災害時に備えて in八王子～

	朝食	昼食	夕食
1 日 目	・ウインナー入りおかず蒸しパン○ ポリ袋調理	・ニンジンバターライス ○ポリ袋調理	・鯖缶の韓国風海苔巻き 
2 日 目	・ライスバーガー ☆バックご飯と焼 き鳥の缶詰	・スープ餅 ☆もち、わかめ	・焼きカレードリア ☆レトルトカレー
3 日 目	・さばマヨカレーサンド ☆鯖缶	・コーンポタージュを使った鮭と コーンのスパゲッティ ☆サクフレック、コーン (缶)	・大豆入りレトルトカレー ☆レトルトカレー 大豆の缶詰
4 日 目	・さつまいもと乾パンのけんぴ ・高野豆腐とわかめの味噌汁	・スパニッシュオムレツ ☆大豆、マッ シュルーム、 スパム缶	・ツナの磯部サンド焼き ・切り干し大根と松山揚げの 味噌汁 ・a化米
5 日 目	・乾パン入り雑炊 	・チリコンカンドライカレー ☆大豆ミートのミートソース缶 ミックスピーンズ	・いわしのトマト煮風 ☆トマト缶
6 日 目	・野菜ジュースご飯 ☆a化米、トマトジュース	・卵ピザ ☆味付き a 化米 	・バック肉じゃが ☆牛すき焼きの缶詰
7 日 目	・乾パンコーンフレック風 フルーツ入りヨーグルト	・さばかん 豆腐の煮物 ・a化米 (わかめご飯) ・松山揚げの豆乳味噌汁	・ミネストローネ風パスタ ○ポリ袋調理 ☆トマトジュース グリーンピース缶詰

「東京家政学院大学地域交流会 2020」開催概要

- ◆日時 令和3年3月4日(木) 13時～14時30分
- ◆形式 オンライン会議ツール「Zoom」による開催
- ◆プログラム

- ・講演：「『知』を編集し、地域や社会の課題を発見・解決する東京家政学院大学」
廣江 彰 学長
- ・講演：「コロナ禍での連携事例について」
講師 西武信用金庫 高橋 知佳子 氏
- ・地域連携事例発表
 - ①第53回八王子市消費生活フェスティバル
「減塩しても、こんなに美味しい！」
 - ②京王アカデミープログラム「子育てサロン」
～『親子で楽しむ！「音」と「カタチ」のアート体験』～
 - ③2020 たま食育フェスタ in せいせき
「見直そう食生活！あなたの朝食バランス大丈夫ですか？」
- ・質疑応答 他
- ・実施体制
主催：東京家政学院大学
共催：西武信用金庫

「東京家政学院大学地域連携事例発表会 2021」開催概要

- ◆日時 令和4年3月30日(木)～4月30日(土)
 - ◆公開 YouTubeを使用したオンライン配信
 - ◆プログラム
- ・開催のご挨拶：三澤朱実 地域連携・研究(町田)センター長
 - ・学長メッセージ：鷹野景子 学長
 - ・西武信用金庫様ご挨拶：坂本常幸様 西武信用金庫執行役員 業務企画部長
 - ・連携事例発表
 - ①第15回東京発！物産・逸品 Web モール 取材協力
 - ②STAY in Green Hill TERADA ～寺田で秋を感じよう～
 - ③子ども体験塾 2021 オンライン
 - ④大学コンソーシアム八王子 学生企画事業補助金採択
「元気いっぱいになれる1週間献立！～災害時に備えて～」
 - ・実施体制
主催：東京家政学院大学
共催：西武信用金庫

東京家政学院大学 地域交流会2020&地域連携事例発表会2021

本学では、地域の方との交流と本学の地域連携活動に関する情報発信の機会として、平成19年度より、年に1回、地域交流会を開催しています。2020年度は、令和3年3月4日(木)に町田キャンパスにて開催いたしました。

2021年度は、映像による発表会形式でYouTubeによるオンライン配信をいたしました。

交流会・連携事例発表会では学生が主体的に参加するという本学の地域連携活動の特徴を全面にアピールすべく、成果発表は学生が行っています。



地域連携活動の記録

(二〇二〇・四～二〇二二・三)

二〇二〇年度		二〇二〇・四～二〇二二・三	
二〇二〇年			
八月	十日		
十月	四日～三十日		
十一月	六日～ 二〇二二年六月三十一日		
二〇二二年		二〇二二・一～二〇二二・三	
一月	九日～十五日		
二月	十二日		
三月	一日～三十一日		
四月	四日		
二〇二一年度		二〇二二・四～二〇二二・三	
二〇二一年			
六月	十六日～ 十二月三十一日		
七月	十四日		
八月	七日		
二〇二二年		二〇二二・四～二〇二二・三	
十一月	二十～二十一日		
	二十一日		
十二月	十九日		
二〇二二年			
二月	二十日	二〇二二・四～二〇二二・三	
三月	一日～三十一日 三十日～		

□ 第二回ものづくりチャレンジ大作戦 in まあち（町田〇ごと大作戦）
□ 第八回まちづくりフェスタ交流展示会（ユニコムプラザさがみはら）
□ 「第二十一回ビジネスフェアオンライン」参加
□ ハ王子コミュニティオペラ・オンライン公演『カルメン』の衣装デザイン・制作
□ JA横浜「育ママCome backセミナー」Web開催
□ 大学コンソーシアムハ王子「令和二年度学生企画事業補助金」成果報告会
□ 第五十四回Webハ王子市消費生活フェスティバル 出展
□ 東京家政学院大学地域交流会二〇二〇Web開催
□ まちだ〇ごと大作戦「竹あかりの街“あいはら”」

二〇二一年度		
二〇二一年		
六月	十六日～ 十二月三十一日	□ 第十五東京発！物産・逸品Webモール（取材協力）
七月	十四日	□ 市立川崎高等学校 大学見学・大学学びプログラム体験
八月	七日	□ 第三回ものづくりチャレンジ大作戦 in まあち
十一月	二十～二十一日	□ STAY in Green HILL TERRADA ～寺田で秋を感じよう～
	二十一日	□ No Co² November ～地域みんなで地球にいいこと考えよう～ （さがみはら環境まつり代替イベント・オンライン出展）
十二月	十九日	□ 子ども体験塾オンライン二〇二一
二〇二二年		□ グリーンヒル寺田 クリスマスイルミネーション装飾イベント （グリーンヒル寺田おひさま広場主催）
二月	二十日	□ 大学コンソーシアムハ王子「令和三年度学生企画事業補助金」成果報告会
三月	一日～三十一日 三十日～	□ 第五十五回Webハ王子市消費生活フェスティバル 出展
□ 東京家政学院大学 地域連携事例発表会二〇二一 Youtube 配信		

□ 第二回ものづくりチャレンジ大作戦 in まあち (町田〇ごと大作戦)

□ 第八回まちづくりフェスタ交流展示会(ユニコムプラザさがみはら)

□ 「第二十一回ビジネスフェア オンライン」参加

□ 八王子コミュニティオペラ・オンライン公演『カルメン』の衣装デザイン・制作

□ JA横浜「育ママComebackセミナー」Web開催

□ 大学コンソーシアム八王子「令和二年度学生企画事業補助金」成果報告会

□ 第五十四回Web八王子市消費生活フェスティバル 出展

□ 東京家政学院大学地域交流会二〇二〇Web開催

□ まちだ〇ごと大作戦「竹あかりの街“あいはら”」

□ 第十五東京発！物産・逸品Webモール(取材協力)

□ 市立川崎高等学校 大学見学・大学学びプログラム体験

□ 第三回ものづくりチャレンジ大作戦 in まあち

□ STAY in Green HILL TERADA ～寺田で秋を感じよう～

□ No Co2 November ～地域のみんなで地球にいいこと考えよう～
(さがみはら環境まつり代替イベント・オンライン出展)

□ 子ども体験塾オンライン二〇二一

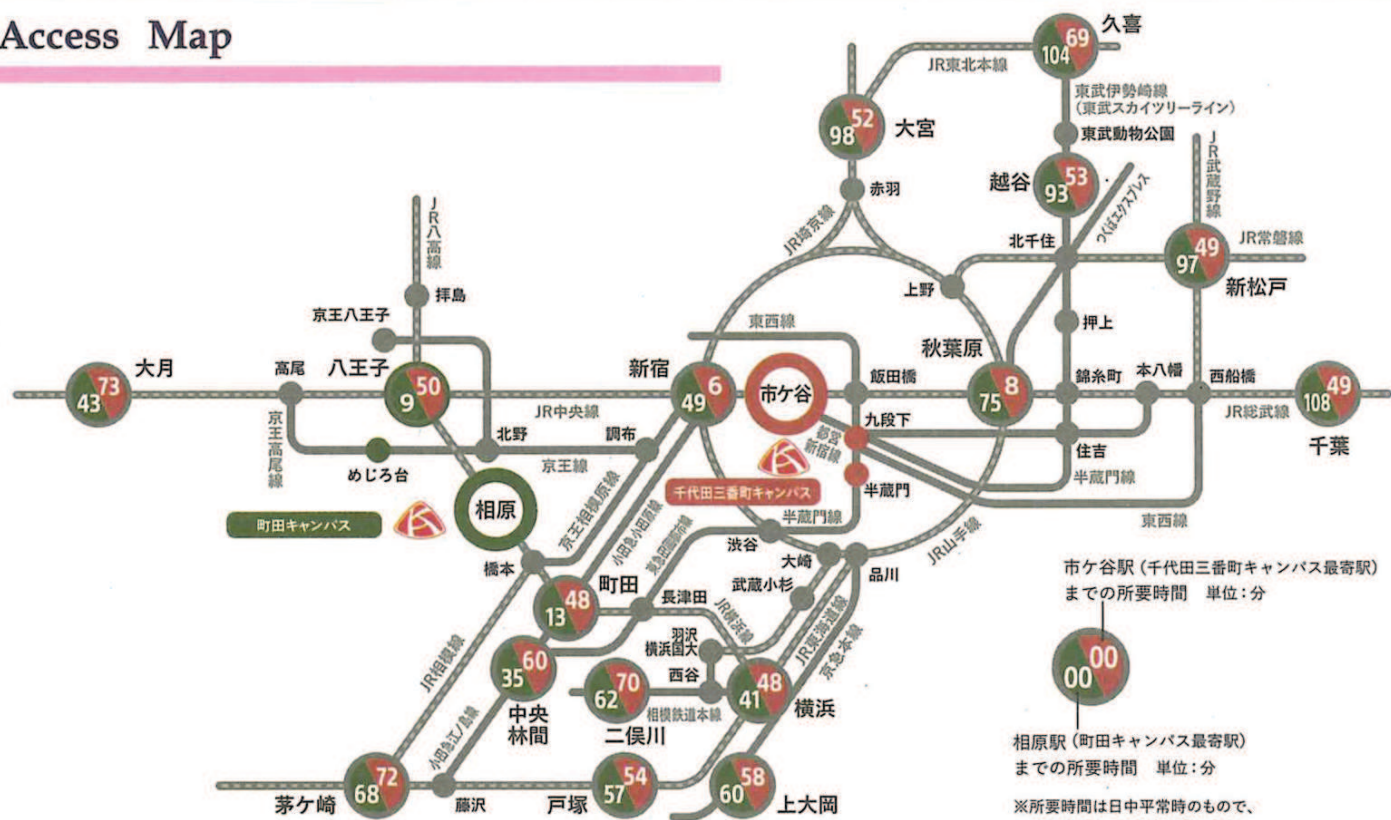
□ グリーンヒル寺田 クリスマスイルミネーション装飾イベント
(グリーンヒル寺田おひさま広場主催)

□ 大学コンソーシアム八王子「令和三年度学生企画事業補助金」成果報告会

□ 第五十五回Web八王子市消費生活フェスティバル 出展

□ 東京家政学院大学 地域連携事例発表会二〇二一 Youtube配信

Access Map



町田キャンパス



〒194-0292 東京都町田市相原町2600

- 相原駅(JR横浜線)下車、バス「相原駅西口(のりば2番)」から「東京家政学院」行乗車、約8分 バス「相原駅西口(のりば1番)」から「大戸」行または「法政大学」行※で「相原十字路」下車、徒歩約10分 ※急行を除く。
- めじろ台駅(京王高尾線)下車、バス「めじろ台駅(のりば4番)」から「東京家政学院」行乗車、約13分
- 八王子駅(JR中央線)下車、バス「八王子駅南口(のりば7番)」から、「東京家政学院」行(めじろ台駅、朝日ヶ丘経由)乗車、約30分

※バス時刻は、相原駅発は神奈川中央交通バス、めじろ台駅・八王子駅発は京王バスの各社時刻表をご確認ください。

千代田三番町キャンパス



〒102-8341 東京都千代田区三番町22

- 市ヶ谷駅(JR中央線・総武線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ南北線、都営地下鉄新宿線)下車、徒歩約8分(地下鉄 A3出口)
 - 半蔵門駅(東京メトロ半蔵門線)下車、徒歩約8分(5番出口)
 - 九段下駅(東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線)下車、徒歩約12分(2番出口)
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

「地域で学び、地域で育つ。」

～東京家政学院大学地域連携成果事例集2021-2022」

発行 東京家政学院大学地域連携・研究(町田)センター
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL 042-782-9811(代表) 042-782-9838(直通)

発行日 令和4年3月31日